

協議題

- 昭和39年度体育予算について
- 組織の強化（市町村の体協組織）

以上3回にわたる会議の内容は前年度よりの継続審議題であった諮問事項についての答申が主なものである。

第2回に一応の答申案を検討し12月5日教育委員会に答申をした。

2 登山指導者講習会

期日 昭和38年8月8, 9日
場所 安達太良山（沢登り）
講師 福島県山岳会理事長 川又恒一
医学博士 斎藤松雄
福島大学助教授 佐藤克己

講習会の内容は第1日理論を主として川又講師より登山における基礎知識について講義をうけ、斎藤講師より山の医学について、登山の身体に及ぼす影響と急救処置についての講義があった。

第2日目の沢登りの技術については馬場川をさか登りつつ、その必要な技術を体得し、安達太良山頂をきわめた。好天に恵れ、特に事故もなく予定通り終了できたが受講者より次のような要望事項があったので来年度の参考資料にしたい。

- 学校教員の班と一般青年指導者班と別にし研究討議の時間ももちたい。
- コースについては、二通りか三通りにして、その能力に合ったコースを選ぶようにすること。
- 技術については高度なものも知りたかった。
- キャンプ指導者講習会も開催してほしい。

3 スポーツ教室普及講習会

期日 昭和38年8月19, 20日
場所 安達太良小学校
講師及び講義内容

スポーツ振興上の諸問題
県教委保健体育課体育係長 佐々木英雄
スポーツ教室の運営について
県教委保健体育課主事 柳沼 正義
都市におけるスポーツ教室
郡山市保健体育課長 先崎 晰
町村におけるスポーツ教室
石川町社教主事 長谷川慶信
社会体育とスポーツ教室
吾妻町社教主事 守谷 督野

研究討議の問題点

- 参加対象の積極的な参加をさせるためにはどうすればよいか
- 講師の報償はどの位が適当か
- コースの種目はどうして選ぶべきか

- 施設用具の不備についていかにカバーするか
- 公民館行事、町村の年間体育行事との調整はどうすればよいか

以上のような研究討議内容であったが参加者が少なかったことが遺憾であった。なお、今後の普及対策は国の補助対象以外のスポーツ教室も開設するよう施策を講ずる必要がある。

4 教育キャンプ村の開設

期日 昭和38年7月23日～8月5日
場所 猪苗代町天神浜
講師 福島大学助教授 佐藤 克己
猪苗代町東中学校長 大堀 三男
〃 吾妻一中校長 渡部 義健
〃 吾妻一小教諭 星 護郎
県教委保健体育課主事 柳沼 正義
〃 北会出張所指導主事 沼沢 東吾
参加人員 1,300名

中・高校生が大部分であったが、一般青少年の利用も公民館、青年会を通して申し込みがあり、年々、参加者が増加し、本年は300名ほど参加のこたわりをしたほどの盛況ぶりであった。今後便所及び炊事場の設備をよくして開設期間を長くしたい。

5 体育指導委員研修会

スポーツテスト実施方法の研究を内容にし、県内5地区にて研修会を開催した。

期日および会場
県北地区 8月27日 福島高等学校
会津地区 8月28日 若松女子高校
県南地区 8月29日 郡山女子高校
石城地区 8月30日 平商業高校
相双地区 9月2日 小高中学校

講師
福島女子高等学校教諭 渡部 仁一
双葉高等学校教諭 佐久間貞良
県教委保健体育課主事 柳沼 正義

以上の5か所において、文部省中央講習会参加者が講師となり伝達講習会を開催したが、学校関係者の参加は多く地教委、体育指導委員等の一般青少年指導者の出席が少なかったのは遺憾である。

なお、受講者より次のような要望があったので今後の普及の資料にしたい。

- ① 測定用具の整備について、県教委より地教委に予算措置をするよう指導すること。
- ② 測定の結果集計用紙は早急に送付すること。
- ③ 県として実施する期間を定めること。